

イングランド及びウェールズにおける独立監査の重要性  
チャーリー・テイラー\*

ロンドンの有名なウォームウッド・スクラブズ刑務所の正門の両側には、2人の偉大な英国の刑務所改革者、ジョン・ハワードとエリザベス・フライが描かれている。どちらも、イギリスの受刑者及びイギリスの植民地に移送される受刑者の境遇を改善することを決意していた。

刑務所から独立して監査する考えが発展し始めたのは、これらの改革者や他の改革者の仕事の中においてであった。当初、この任務を遂行する責任は司法官にあった。しかし、時代が進むにつれて公的な役割が創設された。それにもかかわらず、これらの役割は、彼らが監視していた刑務所業務と密接に関係があると認識されることが多く、独立した監査官ではなくむしろ内部監査機関として機能していた。

1981年、政府は英国刑務所監査局長の役職を創設した。この任命は国王によって行われるため、理論上政府から独立したものとみなされている。監査局長とそのチームは、全ての刑務所を予告なしに訪問し、受刑者の処遇と環境を報告する権利を与えられた。私はその役割を果たす8代目の監査局長であり、私も前任者も刑務所当局で働いたことはない。我々は多様な経歴を有しており、外交官、裁判官、兵士、人権団体から2人、警察官、そして教師の私が含まれている。

独立した監査機関の発展により、イングランド及びウェールズはマンデラ・ルール規則83「(b) 権限のある国際機関又は地域機関を含む、刑務所行政から独立した機関によって実施される外部監査」に対する義務を履行した<sup>1</sup>。当監査機関はマンデラ・ルールよりも前に設立されたが、我々の仕事はこれらの普遍的な人権基準に忠実に整合して行われる。

私はパンデミックの最中の2020年11月に就任したが、チームはよく組織化され、尊敬され、その独立性を守るために固く決意した人々の集まりであった。

裁判所が決めた期間だけ犯罪者を収容するという刑務所の考え方は、比較的最近のものである。18世紀以前には、体罰や処刑に依存する傾向が強かった。しかし、法令集上の犯罪の数が増えるにつれて、死刑の代わりに追放（流刑）が行われるようになった。当初、受刑者はアメリカの植民地に送られたが、独立戦争の後にはオーストラリアに移送され、19世紀半ばまでに16万人以上が移送された<sup>2</sup>。

\* 英国刑務所監査局長

<sup>1</sup> 国連薬物犯罪事務所。国連被拘禁者処遇最低基準規則（ネルソン・マンデラ・ルールズ）。以下にてアクセス可能：The United Nations Standard Minimum Rules for the Treatment of Prisoners (unodc.org)（アクセス日：2024年1月22日）

<sup>2</sup> National Museum Australia (2022) *Convict transportation peaks*. 以下にてアクセス可能：Convict transportation peaks |

時間の経過とともに、移送自体が非人道的であるとみなされるようになり、特に人口が大幅に増加し、犯罪率が上昇していた都市では、新しい刑務所が建設されるようになった。その結果、多くの刑務所が建設され、それらが150年以上経った今でも我々の監査の対象となっている。ダートムーア、ワンズワース、ペントンビル、ブリストル、バーミンガムなどの刑務所は、老朽化し、状態が悪化しているにもかかわらず、引き続き利用されている。これらの刑務所は、しばしば市中心部にあり、裁判所に近く、家族が訪れるのに便利であるため、引き続き利用されている。それらは登録された建物であり、しばしば優れた建築物であるために保護されており、それらを取り壊して取り換えることはできない。しかし、長年にわたり、これらの刑務所は過密状態、暴力、高レベルの薬物使用などの問題を頻繁に経験しており、監査機関にとって最大の懸念材料であり続けている。

英国の刑務所制度の創設において、キリスト教の影響を理解することは重要である。全ての人間は神のイメージの中で独自に創造されているという考えから、受刑者は、その犯罪の凶悪さにかかわらず、信仰を持っていれば救済される、という信念が生まれた。しかし、犯罪者が自らを悔い改めるためには、仲間の受刑者の悪影響から隔離されることが不可欠であった。それゆえ、彼らは独居に閉じ込められ、運動場でひっそりと会話する以外は、お互いに話すことができなかった。それは、もし彼らが独りきりで働き、祈りを捧げる状態におかれたならば、彼らは神の下に戻る道を見つけ、社会復帰するであろうという考えであった。英国の多くの刑務所の中には素晴らしい礼拝堂があり、ワームウッド・スクラブズの礼拝堂は最も尊敬されているものであるが、それは収容と宗教の関係を示している。

刑務所改革者のサミュエル・ホーアは、刑務所の目的を重労働の強制、厳格な沈黙、独居拘禁であると述べ、それが犯罪者を道徳的に更生させる最も効果的な手段であると信じていた<sup>3</sup>。

アイルランドの偉大な劇作家オスカー・ワイルドは、レディング監獄でこの刑務所制度の対象となり、ここで彼は同性愛の罪で2年間のほとんどを過酷な労働に費やした。彼は釈放後の1896年に内務大臣に手紙を書いている。

13か月以上の恐ろしい期間、申立人は恐ろしい独居拘禁制度の対象とされた。いかなる種類の人的交流もなく、その使用が気持ちを紛らわせるのに役立つかもしれない筆記材料もなく、文学者に不可欠な、そして精神的なバランスを維持するために不可欠な、適切な又は十分な本もなく、絶対的な沈黙を決めつけられ、外界や生命の動きに関するあらゆる知識から切り離され、退屈な仕事の単調な繰り返しと意気消沈させる欠乏にうんざりして、ひどい零落と苦難か

National Museum of Australia (nma.gov.au) (アクセス日：2024年1月22日)

<sup>3</sup> Cooper, R. A. (1981) 'Jeremy Bentham, Elizabeth Fry, and English Prison Reform', *Journal of the History of Ideas*, 42(4). 以下にてアクセス可能：Jeremy Bentham, Elizabeth Fry, and English Prison Reform on JSTOR (アクセス日：2024年1月22日)

ら成る存在へと落とし込まれた<sup>4</sup>。

既に潮流は、教育と社会復帰により大きな焦点を当てた、よりリベラルなアプローチに向かっていた。例えば、1902年に導入された少年院のシステムは、若い犯罪者を矯正するために設計され、イングランドのパブリック・スクールに大まかに基づき、舎監が置かれ、多くの屋外活動を伴っていた<sup>5</sup>。

さらに1910年には、アスキス政権で内務大臣を務めていたウィンストン・チャーチルが、ボーア戦争のときに収容されていたこともあり、刑務所の更なる人道化、独居拘禁ルールの緩和、刑務所図書館の導入に着手した。2010年の下院での演説で彼は次のように述べた。「犯罪や犯罪者の扱いに関する一般市民の気分や怒りは、どの国の文明においても、最も尽きることはない試練のひとつである。<sup>6</sup>」彼はさらに、国家は「揺るぎない信念を持つべきだ。貴きものは、一人一人の心の中にある、もしそれを見つけることさえできれば。」と続けて述べた<sup>7</sup>。

第二次世界大戦後、刑務所の人口は約15,000人に減少したが、1981年に刑務所の監査局長の役職が創設されたときには、刑務所には4万人がいた<sup>8</sup>。40年以上前の最初の年次報告書では、3つの主要な課題、すなわち、過剰収容、受刑者が何もすることなく居室に拘禁されている時間が長過ぎること、刑務所の施設の修繕が不十分であることが記載されており、それ以来、これらは我々の報告書の共通のテーマとなっている。興味深いことに、当時の内務大臣ウィリアム・ホワイトローは報告書の序文で次のように書いている。「刑事司法制度に対する国民の信頼を維持する必要性と一致して、犯罪が増加している今、私たちは刑期短縮への促進のためにできる限りのことをすることで、刑務所人口の減少に努めている。」<sup>9</sup>これは、次の10年の政治家から聞いたのとは全く違うトーンであった。

20世紀後半の刑務所人口の増加は、1960年代初頭に始まり1990年代半ばにピークを迎えた犯罪率の劇的な上昇に続くものであった<sup>10・11</sup>。全国犯罪調査によると、それ以降、犯罪率は低下し始めた。重大な凶悪犯罪の度合が今より1981年の方が高かったことを知る人はほ

<sup>4</sup> Lapham's Quarterly. *Oscar Wilde Pleads His Case: When has a mind been punished enough?* 以下にてアクセス可能: Oscar Wilde Pleads His Case | Lapham's Quarterly (laphamsquarterly.org) (アクセス日: 2024年1月22日)

<sup>5</sup> Britannica. *Borstal system*. 以下にてアクセス可能: Borstal system | Juvenile Detention, Reforms & Education | Britannica (アクセス日: 2024年1月22日)

<sup>6</sup> Stand Together Trust (2016) "*The Prisoners Friend*": *Winston Churchill's Beliefs on Criminal Justice Reform*. 以下にてアクセス可能: "Prisoners Friend": Winston Churchill & Criminal Justice Reform (standtogethertrust.org) (アクセス日: 2024年1月22日)

<sup>7</sup> Stand Together Trust (2016) "*The Prisoners Friend*": *Winston Churchill's Beliefs on Criminal Justice Reform*. 以下にてアクセス可能: "Prisoners Friend": Winston Churchill & Criminal Justice Reform (standtogethertrust.org) (アクセス日: 2024年1月22日)

<sup>8</sup> Sturge, G. (2023). 'UK Prison Population Statistics', *House of Commons Library*. 以下にてアクセス可能: SN04334.pdf (parliament.uk) (アクセス日: 2024年1月22日)

<sup>9</sup> Her Majesty's Chief Inspector of Prisons (1981) *Report of Her Majesty's Chief Inspector of Prisons for England and Wales 1981*. London: Her Majesty's Stationery Office.

<sup>10</sup> Office for National Statistics (2023) *Crime in England and Wales: year ending June 2023*. 以下にてアクセス可能: Crime in England and Wales - Office for National Statistics (ons.gov.uk) (アクセス日: 2024年1月22日)

<sup>11</sup> UK Parliament. *Crimes of the century*. 以下にてアクセス可能: Crimes of the century - UK Parliament (アクセス日: 2024年1月22日)

とんどいないだろう<sup>12</sup>。1990年代半ば以降の犯罪件数の減少は、英国に限ったことではない。米国や西欧各国でも同様の減少が見られた。実に様々な司法政策が施行されたにもかかわらずである<sup>13・14</sup>。

なぜ犯罪が減少したのかについては、多くの説がある。イングランドとウェールズでは、1990年代初頭から2010年代の間に、刑務所の人口が45,000人から85,000人へとほぼ倍増した<sup>15</sup>。1993年、内務大臣マイケル・ハワードは有名な「刑務所の任務」演説を行い、犯罪の減少と収容の増加を結びつけた<sup>16</sup>。同時に、野党の内務大臣トニー・ブレアは、「犯罪に厳しく、犯罪の原因にも厳しく対処する」とのコミットメントを表明した<sup>17</sup>。

2027年3月までに、イングランドとウェールズの刑務所人口は93,100人から106,300人の範囲に増加すると予測されている<sup>18</sup>。時の経過とともに宣告刑の刑期も著しく長くなっており、その平均は2000年の11.4カ月から2023年には20.4カ月に増加した<sup>19</sup>。監査中に、今後30年間を刑務所で過ごすことを予定している若者に出会うことは珍しくない。

長年にわたり、政策立案者たちは刑務所の目的について議論してきた。一般的に、それは四つの要素の組合せであった。抑止、処罰、社会復帰、公安であるが、それぞれのいずれを強調するかは時間の経過とともに変化する。これらの異なる目的はしばしば互いに衝突する。刑務所を完全に廃止するのが良いと考える少数の難解なグループがあるが、刑務所に代わるものがあるとしたら何なのか、完全には明らかでない。ハンニバル・レクターのような人々にどう対処するのか、という質問に常に出くわしてしまう。最も情熱的な刑務所廃止論者でさえ、必ずしもレクターを隣家の隣人として望んでいるわけではないだろう。

裁判所や警察と同様に刑務所の存在は、法を自分たちの手に委ね、自分たちに悪事を働いたと考えられる人たちに即決裁判を適用しようとする人たちへの保護を提供する。これらの機関は、被害者と犯罪者の間に一定程度の距離を確保し、我々の復讐本能の帰結から

<sup>12</sup> Office for National Statistics (2023) *Crime in England and Wales: year ending June 2023*. 以下にてアクセス可能: Crime in England and Wales - Office for National Statistics (ons.gov.uk) (アクセス日: 2024年1月22日)

<sup>13</sup> Tonry, M. (2014) 'Why Crime Rates are Falling throughout the Western World', *Crime and Justice*, 43(1). 以下にてアクセス可能: Why Crime Rates Are Falling throughout the Western World (researchgate.net) (アクセス日: 2024年1月22日)

<sup>14</sup> Federal Bureau of Investigation. *Crime Data Explorer*. 以下にてアクセス可能: CDE (cjis.gov) (アクセス日: 2024年1月22日)

<sup>15</sup> Sturge, G. (2023). 'UK Prison Population Statistics', *House of Commons Library*. 以下にてアクセス可能: SN04334.pdf (parliament.uk) (アクセス日: 2024年1月22日)

<sup>16</sup> Howard, M. (1993) *Does Prison Work?* 以下にてアクセス可能: [https://www.google.com/url?sa=t&rct=j&q=&esrc=s&source=web&cd=&cad=rja&uact=8&ved=2ahUKEwjw96f8wvODAxVQiv0HHbBGCRgQFnoECBQQAQ&url=https%3A%2F%2Fwww.michaelhoward.org%2FPrison\\_Works.doc&usq=AOvVaw11GOazpNjjKr-LGIn\\_CNAn&opi=89978449](https://www.google.com/url?sa=t&rct=j&q=&esrc=s&source=web&cd=&cad=rja&uact=8&ved=2ahUKEwjw96f8wvODAxVQiv0HHbBGCRgQFnoECBQQAQ&url=https%3A%2F%2Fwww.michaelhoward.org%2FPrison_Works.doc&usq=AOvVaw11GOazpNjjKr-LGIn_CNAn&opi=89978449) (アクセス日: 2024年1月22日)

<sup>17</sup> British Political Speech. *Leader's speech, Blackpool 1994: Tony Blair (Labour)*. 以下にてアクセス可能: British Political Speech | Speech Archive (アクセス日: 2024年1月22日)

<sup>18</sup> Ministry of Justice (2023) *Prison Population Projections 2022 to 2027, England and Wales*. 以下にてアクセス可能: Prison\_Population\_Projections\_2022\_to\_2027.pdf (publishing.service.gov.uk) (アクセス日: 2024年1月22日)

<sup>19</sup> Clark, D. (2024) *Average custodial sentence length at all courts to immediate custody for all offences in England and Wales from 2000 to 2022*. 以下にてアクセス可能: Average prison sentence length in England and Wales 2022 | Statista (アクセス日: 2024年1月22日)

我々を保護する。深刻な暴力犯罪や性犯罪に対して刑務所に異議を唱える人はほとんどいないが、西欧の他のどの国よりも高い割合で収容されている国では、誰がどれだけの期間刑務所に入るべきかという問題が確かにある<sup>20</sup>。

国内にいる約88,000人の受刑者のうち、約400人がこどもで、3,500人が女性である<sup>21</sup>。受刑者たちは、ブリストルやウィンチェスターにあるような崩れそうなヴィクトリア朝の矯正施設だけでなく、ノーサンプトンシャーのファイブウェルズにあるような真新しい刑務所など各地に分散収容されている。刑務所の施設は、収容されている受刑者の性質と施設の目的の両方を反映して、ウェイクフィールドのような重警備刑務所から、サセックスのフォードにあるような開放型刑務所まで、様々なカテゴリーに分かれている。

イングランドとウェールズにある120の刑務所のうち、15の刑務所は、役務の提供から利益を得ることができる民間のプロバイダーと契約している<sup>22</sup>。これらの刑務所は通常、より新しいインフラで建設されており、古い時期の刑務所よりも総じて状態が良い。民間の請負業者による運営に深刻な欠陥がいくつかあり、特にバーミンガム刑務所では、壊滅的な状態になった後、公共部門に戻された。しかし、イングランドとウェールズの優れた刑務所のいくつかは、現在、民間の請負業者によって運営されている。

2020年3月、刑務所運営当局は新型コロナウイルスの影響に関する警戒すべき予測に迅速に対応した。彼らは迅速に検査措置を実施し、新たな受刑者は隔離され、面会は中止され、刑務所間の移送は制限された。

その間の私たちの監査では、清掃、廃棄物管理、炊事などの刑務作業をしていた人を除いて、ほとんどの受刑者が1日約22.5時間、居室に閉じ込められていたことがわかった。もっと長い時間のケースもあり、特に週末には長くなっていた。ベッドフォードやレスターのようなビクトリア朝の刑務所では、2人の受刑者が二段ベッド、洗面台、隅にある遮蔽物のない便器、やかん、椅子、テレビなどを備えた縦12フィート横6フィートの居室でほとんどの時間を過ごすのが一般的であった。スタッフや受刑者をウイルスから守るために、社会復帰の目的は犠牲になった。

私たちは、パンデミック以来、刑務所が業務を再開したペースに失望し続けている。カテゴリーCの訓練刑務所の監査では、最終的な釈放に備えさせるための受刑者の教育、訓練、雇用可能性の向上に責任がある刑務所において、受刑者のための活動レベルが非常に低調であることが示されている。

新型コロナウイルス流行後のある種の休眠状態が多くの刑務所に影響を与えて、工場や

<sup>20</sup> Fleck, A. (2023) *Incarceration: The Western European Nations Imprisoning the Most People*. 以下にてアクセス可能: Chart: The Western European Nations Imprisoning the Most People | Statista (アクセス日: 2024年1月22日)

<sup>21</sup> Ministry of Justice (2024) *Prison population figures: 2024: Latest prison population figures for 2024*. 以下にてアクセス可能: Prison population figures: 2024 - GOV.UK (www.gov.uk) (アクセス日: 2024年11月22日), Youth Custody Service (2024) *Youth custody data*. 以下にてアクセス可能: Youth custody data - GOV.UK (www.gov.uk) (アクセス日: 2024年1月22日)

<sup>22</sup> Beard, J. (2023) *'The Prison Estate in England and Wales'*, House of Commons Library. 以下にてアクセス可能: SN05646.pdf (parliament.uk) (アクセス日: 2024年1月22日)

教室が空っぽのまま、受刑者たちは昼間、テレビを見たり、眠ったりして時間を無駄にしている。これは、一部の刑務所では、適切に運営するための十分なスタッフがいないことが一因である。2010年に導入された英国政府の緊縮政策は、刑務所職員の数を減らし、予算を削減した<sup>23</sup>。その結果、2015年3月から2019年の間に、3年以上勤務の刑務所職員の割合は92%から58%に減少した<sup>24</sup>。

翼をスムーズに動かす方法を知っている経験豊富なスタッフの喪失は、マンバやスパイスのような合成精神活性物質の出現と相まって、刑務所制度にとって壊滅的なものであった。これらの薬物が犯罪化されるまでに、それらを刑務所に密入するためのネットワークが確立されていた。つまり、手紙や写真、さらには衣服に違法な物質を混入させ、喫煙させたり、他の受刑者に販売したりすることができた<sup>25</sup>。職員不足と薬物の増加は、受刑者が払えない借金を増やし、ライバルのギャングたちが儲かる刑務所市場を奪い合い始めたことを意味した。2014年から2019年にかけて、刑務所当局が対職員及び受刑者間の両方での暴行を阻止しようとしたが無駄に終わったため、暴力事案の発生率は倍増した<sup>26</sup>。薬物、暴力、借金がもたらした不安が自傷率の上昇に寄与した可能性は十分にある。

ほとんどの刑務所では、ロックダウンによって暴力のレベルが低下したことは間違いない。一度にロックが解除される受刑者数は少なく、暴力事案の機会は減少した。さらに、ボディースキャナーのようなより良い技術の導入により、薬物を刑務所に持ち込むことがより困難になったことを意味している。

この制限的な体制を維持したい人たちがいるのは確かである。ある年老いた刑務官は、「幸福はドアの形をしている」と言っている。つまり、収容されている受刑者は何の害もなしえないということである。延長されたロックダウンがこの世代の受刑者に長期的にどのような影響を与えるかはまだわからないが、退屈、無活動、家族の絆の喪失、グループセラピーの延期、教育や仕事の不足に代償を払うことになるだろう。

出所者の再犯率は依然として高く、成人で38%、未成年者で63%である<sup>27</sup>。これが示唆するところは、ほとんどの刑務所が、社会復帰させることや将来の犯罪から国民を保護することよりも、処罰することに重点をおいているということである。刑務所が司法制度成

<sup>23</sup> Ismail, N. (2022) 'After a decade of austerity, urgent changes are needed to improve prison services', University of Bristol. 以下にてアクセス可能: PolicyBristol\_PolicyReport79\_Prison-funding-austerity\_Ismail.pdf (アクセス日: 2024年1月22日)

<sup>24</sup> Ministry of Justice (2020) *Her Majesty's Prison and Probation Service workforce quarterly: December 2019*. 以下にてアクセス可能: Her Majesty's Prison and Probation Service workforce quarterly: December 2019 - GOV.UK (www.gov.uk) (アクセス日: 2024年1月22日)

<sup>25</sup> HM Prison & Probation Service (2019) *Prisons Drug Strategy*. 以下にてアクセス可能: Prison Drugs Strategy (publishing.service.gov.uk) (アクセス日: 2024年1月22日)

<sup>26</sup> Ministry of Justice (2020) *Safety in Custody Statistics, England and Wales: Deaths in Prison Custody to March 2020 Assaults and Self-harm to December 2019*. 以下にてアクセス可能: Safety in Custody Statistics Bulletin, England and Wales, Deaths in prison custody to December 2016, Assaults and Self-Harm to September 2016 (publishing.service.gov.uk) (アクセス日: 2024年1月22日)

<sup>27</sup> Ministry of Justice (2023) *Proven reoffending statistics: October to December 2021*. 以下にてアクセス可能: Proven reoffending statistics: October to December 2021 - GOV.UK (www.gov.uk) (アクセス日: 2024年1月22日)

功のための不可欠な要素であり、それが国民から信頼され、国民の安全を維持するものであるべきならば、我々のモデルは変わる必要がある。

受刑者の社会復帰に懐疑的な人もいて、彼らは再犯に対して唯一の抑止力となるものは、歳を重ね、家族を持つことにより責任が重くなることであると考えている。ほとんどの犯罪が若い男性によって行われていることは確かであり、多くの人にとって、成長し、こどもへの責任を負い、仕事を見つけることは、全て強力な復帰力の要因である。しかし、刑務所は、犯罪から脱却するまでは、犯罪者を収容する以外の何も達成できないという考えは、それが間違っているのと同じくらい意気消沈的である。

私は毎週、犯罪と収容のサイクルからの脱出に必死になっている受刑者たちに出会っている。多くの人が薬物やアルコールに依存しており、自分や周囲の人々の生活が常用癖によってしばしば破壊されてきたことを説明し、彼らは自分が変わるための助けを求めている。こどもの頃から浸っていた混沌とした生活以外は何も知らなかった受刑者たちもいる。彼らは学校で成功したことがなく、釈放されたときに仕事を続けたり、関係を維持したいと思ったときに必要なスキルや習慣を身につけていない。

オックスフォードシャーのグレンドン刑務所では、受刑者に集中的な治療支援を提供することが可能であることが実証されており、その中には生涯にわたって拘禁内外の制度と戦ってきた者もいる。同様に、マンチェスターの近くのバックリーホールやサフォークのウォーレンヒルは、更生に資する文化を創生する方法を示している。国内最大の刑務所であるオークウッドは、その指導者たちが受刑者に信頼を与えてきたおかげで成功している。オークウッドで非常に長い刑に服していたある男性は、刑務所で最も脆弱な立場にある仲間の受刑者たちのために木材のワークショップを運営していたことで、数年ぶりに自分の人生に意味を見つけたと私に語った。

社会復帰の考え方は、時間をかけて行われるプロセスを意味する。犯罪者は通常、一晩で犯罪行為をやめることはないが、徐々に犯罪行為を減らすことがある。反社会的なものから向社会的なものへの個性の変化が重要である。犯罪者は、新しい視点から自分を見ることができるようにならなければならない。犯罪から離れて成功を収めることができる自分を。この心理的変化は、実際的な支援によって支えられる。刑務所を出るとき、元犯罪者は安全な場所に住み、何か意味のあることをする必要があり、身体的にも精神的にも健康である必要がある。

これは、刑務所と地域社会との間に密接なつながりがある場合に社会復帰が最もよく機能し、そしてそうすることが安全である場合には、刑期の終わりに近づいた時点で受刑者が仮釈放されることを期待できるようにしなければならないことを意味する。これは、彼らを社会に復帰させ、家族と再会させ、目を覚まして仕事に行く習慣を植え付けるのに役立つことになる。

また、釈放されたときに刑務所外の医療機関でケアされ得るように、医療の継続性がなければならない。あまりにも多くの場合、収容を解かれた人々は精神衛生が悪化し、薬物

乱用による自己治療、犯罪行為への関与、そして最終的には刑務所に戻ることに繋がっている。

我々の刑務所を改善するためにはリーダーシップが不可欠である。運営が最も困難な刑務所であっても、最良の所長は、受刑者の基本的なケアの基準を維持し、そこに住む人々及び働く人々のために刑務所の安全を確保し、違いをもたらすことができることを目にしてきた。刑務所を運営することは、所長に多大な個人的負担を強いることになる。私は、行動困難なこどもたちのための学校を運営するのは難しいと思ったが、クリスマスの日に暴動があったことや受刑者が脱走したことを知らせる電話を受ける心配は決してなかった。これは、最良の所長が燃え尽きて疲れ果ててしまう可能性があることを意味し、彼らは刑務所の構造そのものに組み込まれている深い文化的問題のいくつかを変えるために十分な期間、その職に留まっていなかったことを意味する。刑務所の文化を変え始めるには3年、実際に物事を推し進めるには5年が必要である。多くの刑務所では、所長の交代が非常に早いため、職員が、半年後にはそこにいないかもしれない所長によって課された多くの変更に対応することよりも、彼らが既に知っていることに固執することを非難することはできない。

我々の監査のほとんどは予告なしで行われる。我々は、全ての刑務所を少なくとも5年ごとに確実に監査する秘密の監査スケジュールを用意している。リスクの高い刑務所では、2～3年ごとの、より頻度の高い定期的な訪問とされる可能性が高い。

ある刑務所が選ばれたら、月曜日の朝にその刑務所の駐車場に車で行き、所長に電話をかけて、監査を告知し、我々の鍵の受領と我々が働ける作業室の手配を依頼する。その後、我々の調査チームは刑務所に入って受刑者への質問調査を行う。我々は、その日そこにいる受刑者の数に基づいてランダムに受刑者を選ぶ。これにより、我々は被収容者人員に係る典型的な割合を得る。この調査では、同刑務所に到着したときの扱われ方を始め、職員の行動、薬物の入手可能性、教育の質、最終的な釈放への支援など、同刑務所に関する彼らの経験と認識について、幅広い質問を投げかけている。この調査は現在100以上の質問に及んでいるが、私が最初にチームの活動を見て驚いたことに、ほとんどの受刑者がフォームに記入したがついていない。受刑者が読むことに苦労したり、英語を話せない場合は、我々のチームは、できるだけ幅広い声を確実に聞くことができるように支援する。受刑者は、刑務所についての見解を表明する機会を歓迎しており、彼らはアンケートへの回答だけでなく、独自のコメントを追加することもできる。

調査が進行している間、監査を調整している我々のチームの1人は、刑務所内を1日かけて歩き回り、一般的な基準についてのいくつかの初期評価を行い、職員や受刑者に話しかける。その後、調査結果が収集され、情報が分析され、我々は同刑務所の前回の監査や他の同様の刑務所と比較することができる。また、我々は、刑務所運営の一元化されたデータシステムを利用して、暴力、自傷行為、薬物検査、重大事件、受刑者の苦情など、幅広い指標の傾向を検討することができる。我々はまた、所長が刑務所の状態に関する彼



らの自己評価を我々に送ることを期待している。これらの情報は全て監査の最初の週に収集され、監査官が2週目の月曜日の朝に到着したとき、チームは既に任務遂行の準備ができており、同刑務所についてのいくつかの良い手がかりと情報を持っていることを意味する。

我々のチームにはリーダー及び、その他の3、4人の監査官がいる。各チームには、専門の医療監査官、CQC（医療品質センター）からの同僚、教育訓練を調査するOfsted（教育水準局）からの同僚が同行する。

我々の監査は、我々が刑務所を判断するために考案した四つのテストに従った一連の見込文書を使用して行われる。見込文書は、刑務所やその他の拘禁形態を監査するために我々が使用する基準を定めた文書である。これらは、ネルソン・マンデラ・ルールズを含む国際的な人権基準に基づいており、拘禁中の生活のあらゆる側面を調査するために使用されている。我々が監査する拘禁のタイプごとに異なるバージョンの見込文書がある。我々の基本的な監査方法は、あらゆる形態の拘禁について一貫している。これは、健全に確立されたテストとして知られる一連の広範なテーマ別判断で構成されている。

テストは若干違いがあるものの、その全てが健全な刑務所についての以下の我々の四つのテストから策定されている。

1. 安全：特に最も脆弱な立場にある受刑者が安全に収容されている。
2. 敬意：受刑者は人間としての尊厳を尊重して処遇されている。
3. 目的のある活動：受刑者は、彼らに利益をもたらす可能性のある活動に従事することができ、またそれを期待されている。
4. 釈放の準備：釈放の準備は、刑務所の中核機能として理解されている。受刑者は、家族や友人との関係を維持し、発展させるための支援を受けている。受刑者は再犯の蓋然性を減らすための援助を受け、彼らの加害のリスクは効果的に管理されている。受刑者たちは釈放され地域社会に戻るための準備をしている。

4日間の監査の後、チームは監査局長と会合を開き、健全な刑務所としての分野ごとのスコアを決定する。

- 1 = 不良
- 2 = 十分ではない
- 3 = 可
- 4 = 良

また、我々はリーダーシップの質も評価する。ただし、これは採点化されない。その日の夕方、チームのリーダーと監査局長は刑務所長に結果をフィードバックする。以前であれば、我々は改善すべき分野について200項目もの勧告を作り上げていただろう。しかし、これは刑務所が効果的に対処するには過剰な数だと私は信じていた。その結果、我々は現在、改善を必要とする最も重要な側面であると我々が考える優先課題と主要課題に焦点を当てている。その後、行動計画を策定するのは所長とそのチームの責任である。

全ての刑務所監査報告書は、監査終了後14週間以内に最終決定され、公表されなければならない。

監査局長が特に懸念している刑務所がある場合は、司法大臣に「緊急通知」(UN)を発することができる。これは、直ちに対処しなければならない問題があることを意味する。その後、司法大臣はUN(緊急通知)に対応する行動計画を28日以内に作成する。悲しいことに、私は2022年11月から2023年11月までの1年間に、この権限を前例のない5回も行使した。

いくつかの懸念がある刑務所については、我々は12か月以内に戻ってきて、どれだけの進展があったかを評価する。進展が不十分であると判断した場合には、我々は、再度の監査を宣言し、当面の問題に対処するために刑務所に6か月の通知期間を与えることができる。

監査局長の仕事の重要な部分は、様々なメディア・プラットフォーム(テレビ、ラジオ、新聞、オンライン)と関わり、刑務所についての我々の懸念を提起することである。私はまた、議会の委員会に対し、刑務所の基準に関する調査の証拠を提出する。

監査機関は、公平性と誠実さについて高い評価を保持しており、それは、その役割を担った前任者たちや私が率いる優れたチームによって築き上げられたものである。我々の報告書は、刑務所長、刑務所運営当局、大臣、議会、国民に真剣に受け止められている。そうは言っても、改善に時間がかかることに我々は不満を感じている。特に「目的のある活動」については、パンデミック以来、受刑者が十分にすることがないまま居室に閉じ込められ、釈放されたときに成功するために必要なスキルを身につけていないことを目している。

英国が拷問等禁止条約選択議定書(OPCAT)の約束を果たすためには、独立した監査が不可欠である。我々の刑務所では多くの良い仕事が行われており、いくつかは世界のどの国にも劣らないものであるが、対処する必要のある深刻な問題もいくつか存在する。独立した監査機関は、大臣、刑務所運営当局、議会、メディア、国民に、刑務所の状況とその改善のために取り組まなければならない課題についての情報を確実に提供する。光と酸素を、外界から閉ざされざるを得ないシステムの中に取り入れることによってのみ、拘禁された人々の適切な処遇条件を保つこと、将来の犯罪や犯罪による苦悩から国民を守ることを確実に行うことができる。